

「児童指導集会」(指導・児活部 教員実施)

「ドラゴンボール」は、世界に散らばった球を7つ集めると、どんな願いでもかなうという孫悟空を主人公としたお話です。とかく主人公に目が向きがちですが、惑星ベジータの王子、ベジータの「誇り高き」も気に入っています。本校の子どもたちにも、日々の生活、一つ一つの行事の中に「誇り高き姿」が垣間見ることができ、大変うれしく思います。

ところで、誇り高き姿を発揮できない困難な問題の一つとして「いじめ」の問題があります。今回の児童指導集会では、児童支援中核教諭から子供達への投げかけから始まりました。

《子供達が内容を理解しやすいようにペープサートを使いました》

- ① Aさん「Bさんってとても背が高いよね。かっこいいな」(体のことを言う)
- ② Aさん「Bさん、その鉛筆かわいいね。ちょっとみせてよ」(勝手に手にする)
- ③ Aさん「Bさん、一緒にドッジボールしようぜ」(肩を組み強引に誘う)
- ④ Aさん「おはよう!!」(強くたたく)

Aさん「今日もまた、おしゃれな髪型だね」(髪型のことを言う)

- ⑤ Bさん「靴がない」(隠されたかもしれない)

ペープサートの途中では、Aさんの気持ち、Bさんの気持ちを考えたり、先生や友達と話し合ったりする場面を設けました。そして、最後は今までの自分を見つめ、これから友達とよりよい関係を築いていくための言動や行動について考える時間(ワークシート記入)を設定しました。

「児童指導集会」は、毎年行っています。それは、すべての子供達のまわりからいじめをなくしたいと考えているからです。子供達には、友達の気持ちがわかる人に、自分の言葉がどれだけの重さを持っているのかわかる人に育ってほしいと願っています。また、いやだと思ふ行為をする相手には、いやだと伝えられるようになってほしいものです。大きな勇気があるし難しいことだけれど先生達もおうちの人も地域の方も支えたいと思っているよというメッセージが常に届くよう努めています。ランドデザインの中で指導・児活部が掲げている重点目標「キープスマイル 子供達にいつも笑顔でいてほしい」「オールスマイル すべての子供達に笑顔でいてほしい」に向けて、今後も努めてまいります。

誇り高き姿の子供の成長は、保護者のみなさま、地域のみなさまのご支援とご協力のおかげです。心から感謝申し上げます。

校長 古山雅世

わ な き ば し
令和5年 冬休み号

